

平成28年度 事務事業マネジメントシート

事業名	地域福祉計画策定事業			会計	款	項目	大事	小事
政策	O4	4節 誰もが充実した生涯をおくることのできる流山（市民福祉の充実）	主管課	社会福祉課				
施策	4-7	誰もが安心して利用できる社会サービス体制づくり	主管課長	豊田 武彦				

I 事務事業の目的・内容

事業目的	対象	市民	意図	計画策定により、各施策、事業の計画的かつ効果的な執行を図る。
事業内容	社会福祉法第107条の規定に基づき地域福祉の推進に関する事項について、一体的に定める法定計画であり、流山市総合計画における地域福祉の分野の施策を具現化する上位計画として、「高齢者支援計画」「障害者計画・障害福祉計画」「子ども子育て支援総合計画」等の福祉諸計画を内包する重要な計画を策定するため、地域住民の参加と意見の反映、ニーズの把握が必要なため、地域福祉に係るアンケート調査を実施し、計画に反映させる。			
事業開始から現在までの状況変化	計画期間：平成29年度～平成33年度 策定年度：平成28年度			

II 事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成26年度	平成27年度	平成28年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）	
	①	審議会審議回数			4	回	→→	
②	アンケート対象者			3,000	人	→→		
③	アンケート回答数			1,479	人	↑↑↑		
④	アンケート回収率			49.30	%	↑↑↑	アンケート回答数/アンケート対象者	
⑤								
⑥								
指標で表すことができない定性的な成果						目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況） 計画策定にあたり、無作為抽出で3,000人を対象にアンケート調査を実施した。		
事務事業のコスト		平成26年度	平成27年度	平成28年度				
事務事業の総コスト(a=b+c)				3,123,366				
事業費(b)(円)				1,407,116				
うち一般財源				1,407,116				
職員給与費(c)(円)				1,716,250				
人役・職員(人)				0.25				
人役・再任用(人)								
人役・臨職(人)								
人役・嘱託(人)								
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）								
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）								

III 事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 <※主管課長記入>

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性が高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	II 継続（事業を現状どおり継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

①今年度(H28)の改善計画	新規事務事業により記載なし	③取組の課題	多くの方々からの意見を集約する必要があることから、計画的に業務を遂行する必要がある。
②今年度(H28)に実施した取組	新規事務事業により記載なし	④今後の改善計画	計画策定にあたっては、計画策定がスムーズに行えるようスケジュール管理を行っていく。